

**アークフラッシュ施工された老人施設 7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> **アークフラッシュNEWS をダウンロードによりご覧頂けます**

## << 超防汚塗料実験 >>

イナバンの塗装工場にて新作の超防汚塗料の塗布実験が行われました。

参加者は、アーダントライの町田社長、ベッロモントの金木社長、リケアの松下社長、イナバンの稲森社長、本部の笹川でした。

実験から持ち帰った材料は非常に効果が確認しやすく、今迄にはできなかった窓への防汚にも使用できそうです。



## << インフルエンザ情報 >>

毎年夏にインフルエンザが流行する沖縄県で、現在も流行が収束していないことが国立感染症研究所のまとめで分かった。同研究所は 過去に例のない状況で、今後の

予測がつかない。他地域に影響する可能性もあり 注意が必要だ」と警戒を呼びかけている。

都教育庁は29日、町田市と練馬区の小学校各1校がインフルエンザに診断された1年生の児童が出たため、30日から学年閉鎖や学級閉鎖にすると発表した。インフルエンザによる都内の公立学校の臨時休業は今シーズン初めて。インフルエンザは秋口から冬に流行しやすく、今年1月19日が最初の臨時休業だった昨シーズンは例年に比べ遅かったとみられている。教育庁などによると、町田市つくし野2の市立つくし野小学校は29日、1年生全2クラスの67人のうち21人が発熱やせきの症状を訴えて欠席した。30～31日に1年生を学年閉鎖にする。練馬区南大泉5の区立大泉第六小学校でも29日、1年生全3クラスのうち2クラスの59人中、8人が欠席。この2クラスを30日に学級閉鎖にする。いずれの小学校でもインフルエンザと診断された児童がいた

### << タミフル情報 >>

**服用した若者や子どもに異常行動や突然死が相次いだインフルエンザ治療薬「タミフル」**が脳に達する仕組みを、国内の二つの研究グループが動物実験で明らかにした。脳には薬など異物の侵入を防ぐ「血液脳関門」という防御機能があることなどから厚生労働省の作業部会などは服用と異常行動の因果関係に否定的な見方を出していたが、それを覆す可能性のある研究結果として注目される。タミフルは、体内に入ると主に肝臓の酵素によって「活性体」に変わり、ウイルスの増殖を抑える。一方、血液脳関門では、「P糖たんぱく質」という物質が脳に入ろうとする異物を排除する。荻原琢男・高崎健康福祉大教授らは、タミフルを、通常のマウスとP糖たんぱく質を作れないマウスに投与して比較した。その結果、P糖たんぱく質を持たないマウスでは、脳内のタミフル濃度が血中濃度の65～85%にも達し、通常のマウスの14～17%より大幅に高かった。また、活性体を直接投与したところ、いずれのマウスでも脳に達したタミフルの濃度は血中の1%程度に過ぎず、活性化前のタミフルが脳に達しやすいことがわかった。

それに対して厚生省の見解は下記に

**インフルエンザ治療薬「タミフル」**(一般名リン酸オセルタミビル)と異常行動などの関連を検討している厚生労働省の作業部会(座長、大野泰雄・国立医薬品食品衛生研究所副所長)は24日、現段階までに終了している動物実験などの結果を検討し、現段階では、異常行動などにつながるデータは得られていない」と発表した。作業部会はずべての試験の結果を待ち、総合的に検討するという。同省は今年6月、輸入販売元の中外製薬に対し、タミフルが脳に吸収される過程などを調べる動物実験など、9件の試験の実施を指示した。この日は、うち4件について報告されたが、タミフル服用によって異常行動や突然死につながるデータはなかったという。大野座長は「残った試験の結果を見ないと、はっきりした結論は出せない」と話している

未だに日本の厚生労働省では731部隊時代の人体実験の人間をマルタと称していた時代と同様に人間への影響よりも製薬会社の利益優先が大事とみているのではないだろうか?!!

2007年11月1日、北京市衛生局は毎週恒例の疫病情況報告を発表した。それによると、北京市は呼吸器感染症の多発季節に突入、インフルエンザの発病率は前週に比べて3割以上も増えている先週、北京市内の67の指定医院で急診を受けた人は延べ16万4305人。うち、インフルエンザは5492例で、全体の3.34%を占めた。前週比32.5%増となっている

<< 施工情報 >>



東京新宿区四谷マンション



神奈川県一般住宅



一般住宅 杉山邸



神奈川県秦野市 ジャストエイト



横浜市ニューグランドホテル

**\* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.com](mailto:sasagawa@arc-flash.com)

過去のアークフラッシュNEWS はホームページよりご覧になれます。